ご紹介

ゲームデザイナー
ザイン・メモン

200 年にわたる高級時計製造を称える、ジャガー・ルクルトの「メイド・オブ・メーカーズ™」プログラムによる新しいコラボレーション

概要：

- **第 10 の芸術を再構築**：ビデオゲームという 21 世紀を象徴するメディアを通じて、200 年近くにわたる高級時計製造の歴史を語ります
- **ザイン・メモン**：独創的な物語で感情を揺さぶり、深い思索を促す、インドの新進ビデオゲームデザイナーとのユニークなコラボレーション
- **ジャガー・ルクルトの伝統を捉える新たな視点**：プレイヤーが主役となり、マニュファクチュール工房の歴史が舞台を彩り、ウォッチメイキングが挑戦をもたらします

ジャガー・ルクルトは、「メイド・オブ・メーカーズ™」プログラムの最新コラボレーションとして、インドのゲームデザイナー、ザイン・メモンが手掛けた新作ビデオゲームを発表します。第 10 の芸術と称される、21 世紀を象徴する芸術形態である魅力的でインタラクティブなメディアを通じて、ジャガー・ルクルトの約 200 年にわたる高級時計製造の歴史を描きます。

クラシックアートの限界に挑戦

「メイド・オブ・メーカーズ™」プログラムは、ウォッチメイキングとアートの世界を結びつけ、創造性、専門性、精度というジャガー・ルクルトの価値観を共有する時計づくり以外の分野のアーティスト、デザイナー、職人とのコラボレーションを促進しています。このプログラムでは、クラシックアートを変化のないもの、あるいは過去に縛られたものとして捉えるのではなく、その絶え間ない改革を強調し、今日の創造性を導き出す源泉として称えることに挑戦します。今日クラシックと呼ばれるものが発表当初は前衛的だと見なされていたのと同様、「メイド・オブ・メーカーズ™」プログラムでは、**伝統的な形式や技法が、新しい素材やメディアによってどのように再構成されるか**を探求し、過去と現在の対話に新たな視点を提供します。ジャガー・ルクルトの時計職人のように、アーティストたちは限界を押し広げ、新たな地平を開拓しながらも、創造性の基盤として伝統を尊重し、**ウォッチメイキングとクラシックアートの両方がいかに人間の創造性を表現し、時代の文化を反映し、感情を引き起こすか**を浮き彫りにしています。

今日までに、「メイド・オブ・メーカーズ™」コミュニティには、アーティストのザイムーン（スイス）、マイケル・マーフィー（米国）、ギヨーム・マルマン（フランス）、レタリングアーティスト

のアレックス・トロシュート（スペイン/米国）、パティシエのニーナ・メタイエ（フランス）、ミクソロジスト（バーテンダー）のマティアス・ジルー（フランス）、デジタルメディアアーティストのイーユン・カン（韓国）、ミュージシャンの TØKIO M¥ERS（英国）、マルチメディアアーティストのブレンディ・ワイディンガー（米国）、シェフのヒマンシュ・サイニ（インド）、ストリートライトペインターのロイ・ワン（中国）、調香師のニコラ・ボンヌヴィル（フランス）、デザイナーのハリド・シャファール（UAE）、シェフ・ショコラティエのマチュー・ダヴォワンヌ（フランス/スイス）、アニメーション映画監督のジャッキー・ワン（中国）、ウェブコミックデザイナーの Olivecoat（フィリピン）、写真家のフセイン・アルムーサウィ（アラブ首長国連邦）、AI デジタルアーティストのモナ・アルグワイズ（サウジアラビア）、シェフのジル・ヴァローヌ（スイス）が登場し、**現代ビジュアルアート、ガストロノミー、音楽、香水**の世界を展開してきました。今回、ザイン・メモン（インド）との新たなコラボレーションにより、「メイド・オブ・メーカーズ™」のポートフォリオに**ビデオゲームデザインの芸術**が加わりました。

第 10 の芸術を再構築

ビデオゲームは、現代において最も魅力的で娯楽性の高い芸術形態のひとつと広く見なされており、第 10 の芸術として認知される **21 世紀を象徴するメディア**です。文学、視覚芸術、音楽、ストーリーテリング、映像表現といった伝統的な芸術形態を、デジタル技術と融合することで、ビデオゲームは芸術的表現のための新たなキャンバスとなりました。そのインタラクティブ性と没入感は、観客にアートを体験し、解釈する新たな方法をもたらすのと同時に、プレイヤーが物語の展開やキャラクターの成長、結末に影響を与えることを可能にします。プレイヤーは**物語の一部となり、アーティストのメッセージを独自の方法で体験することができるのです**。

過去 40 年間にわたり、ビデオゲームが芸術の一形態として認知されるようになってきました。1983 年、『Video Games Player』誌は、ビデオゲームについて、「他のいかなる娯楽分野と同様に、芸術の一形態である」と評しました。2006 年、フランスの文化大臣は、ビデオゲームは文化資産であり「芸術的表現の一形態」であると認定し、2012 年にはスミソニアン・アメリカン・アート・ミュージアムが、『The Art of Video Games』展を開催しました。芸術として位置付けられるかについては議論があるものの、その深みと洗練が増すにつれ、 **芸術形態としての認知**はますます高まっています。アートゲームというジャンルは、独創的な視覚的表現と斬新なストーリーテリングを特徴とし、感情や思考を刺激する知的な課題を通じて、しばしば文化的なステレオタイプに疑問を投げかけます。共感型ゲームというジャンルは、プレイヤーを主要な登場人物の内面や感情の世界に導き、深い没入体験をもたらします。インタラクティブ性、視覚的表現、物語、音、そしてプレイヤーの主体性を通じて、これらのゲームは、プレイヤーを**単なる観客から積極的な参加者へと**変えます。ザイン・メモンの作品には、こうした特質がすべて色濃く表れています。

ゲームデザイナー

インドのゴアを拠点に活動するザイン・メモンは、独学で物語作りを習得したストーリーテラーであり、マルチメディア・スペシャリスト、プロデューサー、そして起業家として、**デジタル・プレイの世界で注目を集める新進気鋭の才能**です。インドで最も影響力のあるゲームデザイナーと見なされている彼の代表作には、2 つのボードゲームに加え、現在進行中の主要プロジェクトがあります。ゲーム、小説、映画、グラフィックノベル、玩具、没入型体験などを横断するクロスメディア・ユニバースは、「21 世紀のための生きた神話」となることを目指しています。

「3 歳の頃からゲームをしていました。まだろくに歩けない頃からゲームに夢中でした」と語るように、ザイン・メモンは幼い頃からゲームに親しんできました。科学、テクノロジー、メディアが交差する領域に強い好奇心を持ち、17 歳で高校を中退し、これらの世界に没頭するようになりました。そして、**実践的な探求と経験**を通じて、学びを深めていきました。

パズルやインタラクティブなシステムを通じて物語を紡ぐことに情熱を注ぐザイン・メモンは、ゲームを教育や社会への理解を深めるための強力なツールと捉えています。「私にとって、ゲームとは探求の手段です。そして、優れたゲームとは、時に自分の信念に疑問を投げかけ、揺さぶるようなものです」と彼は述べます。「ゲームというメディアだからこそ、プレイヤーであるあなたに、他のどのメディアでも得ることができない、身をもって体験できる感覚を届けることができるのです。これにより、他者の心のうちに寄り添い、その人自身やその人を取り巻く世界をより深く理解することができます。」

こうしたアプローチにより、「メイド・オブ・メーカーズ™」とのコラボレーションを通じて、時計づくりの世界をユニークかつ極めて革新的な方法で紹介する機会が生まれます。

ジャガー・ルクルトの伝統を捉える新たな視点

ザイン・メモンが手掛けたゲーム『*VALLEY OF INVENTIONS― 発明の渓谷*』は、**デジタルとフィジカル**、過去と現在を**つなぐ架け橋**となり、プレイを通じて時計づくりを発見する体験をプレイヤーにもたらします。21 世紀のメディアであるビデオゲームと、ジャガー・ルクルトの卓越した時計づくりの伝統を融合させ、プレイヤーを約 200 年にわたる時計づくりの独創性、創意工夫、そして精度の旅へと誘います。ザインは、ビデオゲームのインタラクティブな力を活用し、文字や映像、写真では表現できないような、時計職人の技術、精度、独創性を深く体感できる体験を生み出すことで、まったく新しい形で物語を紡ぎ出しています。

同時に、『*VALLEY OF INVENTIONS― 発明の渓谷*』は、**時計づくりのメカニズムをゲームプレイに取り入れる**ことで、9 つの象徴的な複雑機構と先駆的な発明を一連の謎やパズルへと昇華させ、ビデオゲームの芸術を再構築しています。1833 年のマニュファクチュール工房を舞台に、このゲームは、ジャガー・ルクルトが創業した時代と場所を背景として展開します。プレイヤーは主人公となり、

ジャガー・ルクルトの創業者の息子であるエリー・ルクルトを演じます。**脱出ゲームのコンセプトに基づき**、ひとつひとつの謎を解くことで、次の課題への手がかりを得られる仕組みになっています。このようにしてプレイヤーは、**観察力、直感、論理的思考、そして発見を通じて、時計づくりの奥深さ**を理解していきます。 これらは、時計づくりとゲームデザインの両方に共通する資質です。

「このゲームは、気弱な人には向いていません」とザイン・メモンは語ります。「これは、時計職人に求められるのと同じような集中力をもって、知的な思考力を駆使して挑むパズルです。その体験を通じて、時計づくりの世界がいかに深遠であるかを理解することができるでしょう。」

ザイン・メモンが手掛けたビデオゲーム『*VALLEY OF INVENTIONS― 発明の渓谷*』は、2026 年 11 月 2 日にアプリとして一般公開予定。*公式ウェブサイトでもご覧いただけます：https://valleyofinventions.jaeger-lecoultre.com/*

フィジタル形式でも製作され、ジャガー・ルクルトから特定のお客様やコレクターへ贈呈されます。

「ザイン・メモンとコラボレーションができて光栄です」と、ジャガー・ルクルト CEO のジェローム・ランベールは述べています。「彼は、直感に導かれ独学で培った卓越した技術を創作に活かしています。その作品に宿る想像力、独創性、精緻さ、そして細部へのこだわりは、高級時計製造の核心となる価値観を体現しています。こうした資質に加え、彼の好奇心、情熱、そして謙虚さが相まって、彼は私たちにとって理想的なパートナーとなり、「メイド・オブ・メーカーズ™」プログラムに新しい刺激的な芸術形態をもたらしてくれます。」

ザイン・メモンについて

インドで最も影響力のあるゲームデザイナーであるザイン・メモンは、ストーリーテラー、マルチメディア・スペシャリスト、プロデューサー、そして起業家です。ムンバイで生まれ育ち、現在はゴアを拠点に活動し、科学、テクノロジー、メディアが交差する領域に強い好奇心を抱き、17 歳で高校を中退。実践的な探求と経験を重ねながら、独学で知識と技術を培ってきました。映画スタジオのインターンとしてキャリアをスタートさせ、その後、インドの先駆的な VR ジャーナリズム・プラットフォーム「ElseVR」に携わりました。2015 年、アーナンド・ガンディーとともに、科学、哲学、文化が交差する領域を探求する映画、ボードゲーム、文学、VR 体験などを開発・制作するメディアスタジオ「Memesys Culture Lab」を共同設立しました。また、映画、出版、デジタルメディアの分野にまたがる物語性のあるプロジェクトを手掛けるスタジオ「Department of Lore」の共同創業者でもあります。2019 年、彼は政治戦略ボードゲーム『*SHASN*』を制作しました。この作品は IndieCade Europe でソーシャル・インパクト賞を受賞し、世界中で活発なプレイヤーコミュニティを築いています。その 2 年後、続編となる『*SHASN: AZADI*』を発表しました。アーナンド・ガンディーとともに現在取り組んでいる主なプロジェクトが『*MAYA*』です。これは小説、グラフィックノベル、ボードゲーム、映画などにま

たがって展開される、壮大な物語世界を描くトランスメディア・フランチャイズです。この世界観を構成する、彼の初の小説『*MAYA*: *Seed Takes Root*』は、2026 年 8 月に刊行されました。

「メイド・オブ・メーカーズ™」について

「メイド・オブ・メーカーズ™」プログラムは、ウォッチメイキング以外のさまざまな分野のアーティスト、デザイナー、職人たちのコミュニティを一つにまとめます。ウォッチメイキングとアートの間に存在する対話を拡大するこのプログラムは、創造性、専門性、精度といったジャガー・ルクルトを常に定義してきた基本原則を土台としています。このプログラムは、ジャガー・ルクルトの価値を共有し、さまざまに異なる、時には予期せぬ素材や媒体を通じて、表現の新しい形を探求する作品作りをしているワールドクラスのクリエイターたちにフォーカスしています。毎年、ジャガー・ルクルトが世界各地で開催する展覧会に、プログラムを通じて制作された新作が登場し、選ばれたテーマを発展させ、観客がアートや技巧、デザインに関する幅広い話題に加わる新しい機会を作り出します。

ジャガー・ルクルト - ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™

1833 年以来、ジャガー・ルクルトは、革新性と創造性への抑えきれない渇望に導かれ、故郷ジュウ渓谷の平穏な自然環境からインスピレーションを得て、複雑機構への熟練した技術とその精度で際立った存在となっています。ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™として知られるマニュファクチュール工房は、1,400 を超えるキャリバーの制作と 430 以上の特許を通して、その絶え間ない革新の精神を表現してきました。ジャガー・ルクルトの時計職人たちは、190 年以上にわたる蓄積された専門知識を駆使して、最先端の精密なメカニズムの設計、製造、仕上げ、装飾を行い、何世紀にもわたるノウハウと情熱を融合させ、過去と未来をつないでいます。時代を超え、常に時と共にあります。82 の工房、108 の職人技、235 の技法（うち 69 は独自の技法）を結集したマニュファクチュール工房は、その技巧に、デザインの美しさと独特で控え目な洗練とを組み合わせ、高級時計に息吹を吹き込んでいます。

---

jaeger-lecoultre.com